

今回号では、瀬波まちづくり推進事業助成金を活用して取り組みが行われた事業の一部を紹介します。今回は瀬波中町の有志で結成されている「さくら会」の活動状況です。

【記事や写真はさくら会さんにご提供いただいたものを掲載しています】



(パートナー)のロゴマーク
市民協働のまちづくり

S-CAT の帽子変わりました。



ウォーキング交流会

平成27年5月17日(日)に、さくら会会員8名、小学生11名、幼児2名、それに保護者7名の計28名で、瀬波浜町公民館前より海岸に出て、瀬波温泉にむけてウォーキングをしました。コースは汐美荘脇から道路に出て、はぎのや裏山の源泉にて温泉卵作りを体験して、浜新田を抜けて瀬波保育園周辺にて解散するコースとしました。



今後は、子供たちの参加も多く、保護者にも好評だったので、この活動を継続していきたいです。次回は、コースを変えて、多岐神社(お滝様)など瀬波の各所めぐりをしたり、お城山に登ったりなどを計画していきたいと思います。

瀬波海岸交流会

平成27年8月9日(日)に瀬波新田町の海岸で、さくら会会員11名、高校生3名、小学生17名、幼児4名、保護者12名、それに中町若連中5名の計52名の普段交流のない世代が集まり、海に入ったり、スイカ割りをしたり、さくら会から子供たちにお菓子を配ったりと、楽しく触れ合いました。また、保護者の積極的な参加がある良い交流会となりました。



この活動は、年間を通じて参加人数が多い活動であり、また、子供たちや保護者も楽しみにしている活動のため、今後も継続していきたいです。

鍋を囲む交流会

平成27年11月22日(日)に瀬波中町公民館でさくら会会員11名、高校生2名、小学生12名、幼児5名、それに保護者7名、えびす会から5名の計42名で、鍋をメインとした「作る」「食す」「遊ぶ」「協力する」「会話する」交流会を開催しました。

えびす会が考えた遊びを子供達がおこなったり、子供たちが作った「たこ焼き」を皆で食べたりしました。



普段交流の少ない世代が協力し鍋を作ったり、遊びを通じて会話をして笑ったり、共に同じ時間を過ごす事で、多くの繋がりとふれあいが生まれ、充実した活動となりました。また、このような活動はただ楽しむだけでなく、災害時における「助け合う」に繋がる活動であると感じました。

今後は、参加する人たちの期待度が高いので、今後も活動を続けていきたいです。そして、ワンパターンにならないように工夫をする必要性も感じました。

雪像作り交流会

平成28年2月7日(日)にさくら会会員11名と高校生2名、それに若連中2名の計15名で、瀬波保育園の広場を借りて、雪像を2体作成しました。当初の予定では、かまくらも作る予定でしたが、小雪で作成できませんでした。

その後、保育園を訪問しましたが、園児、保護者、



(後日、雪像作成のお礼ということで、瀬波保育園の園児さん達が書いたお礼のコメントと雪像の絵をさくら会にお送りしました。)



保育士さん皆さんが喜んでくれまして、活動の充実感が感じられました。

今後は、保育園側の期待度も高いので、この活動は継続していきたいです。また、積雪量の問題はありますが、世間の反響も大きいので、この活動をもっとアピールできる形にして、参加者を多く集め、広めていきたいです。

未就園児の集いの場

「ひまわりクラブ」

3月18日(金)～4月11日(月)
(平日のみ。10～12時 青少年ホームにて)



瀬波地区青少年健全育成会総会

4月8日(金) 瀬波上町公民館にて
午後7時より開催

※各町内の育成委員長は、平成28年度の委員名簿を3月21日までに忘れなく提出願います。(FAX提出可)

協議会事務局: 村上市瀬波上町4番1号(青少年ホーム内) 担当: 高橋(村上市自治振興課瀬波地域担当)

【TEL】53-2005(青少年ホーム兼用) 【FAX】53-5557(青少年ホーム兼用)

【URL】<http://www.senami-machikyo.net> 【メール】info@senami-machikyo.net